

国立青少年教育施設の振興方策に関する検討会（第2回）

# 体験活動のニーズはどこにあるのか

## ～子ども・保護者、学校の視点から考える～

2024年10月30日

國學院大學 青木 康太郎

# 本日お話ししたいこと

## 1. 体験活動のニーズを考える

- ✓ 子ども・保護者の視点
- ✓ 学校の視点

## 2. 今後求められることは何か

- ✓ 体験活動に関するニーズの把握と現状分析の強化
- ✓ ニーズを踏まえた体験活動プログラムの開発と利用者サービスの向上
- ✓ 体験活動と子ども・保護者をつなぐ仕組みづくり



体験活動のニーズを考える(子ども・保護者の視点)

## 体験活動に対する保護者の意識



- ✓ 今の保護者の多くは、自分が子どもだった頃に比べ、子どもたちの遊べる場所や体験活動の機会が少なくなっていると感じている。
- ✓ 新型コロナの流行以降、子どもたちが体験活動できる機会が十分にあると思っている保護者は減少している。
- ✓ 自分の子どもには、体験活動よりも勉強を優先させたいと考える保護者が増えつつある。

参考:国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和4年度調査)」

体験活動のニーズを考える(子ども・保護者の視点)

## 子どもの自然体験活動の現状

過去16年間の自然体験活動の推移をみると…

家族や友だちと一緒に自然体験活動を行っている子どもの割合は大きく変わらないものの、公的機関や民間団体が行う自然体験活動への参加率は減少傾向にある。



最近の状況をみると…

- ✓ 子ども会やPTAが行う自然体験活動への参加率が低下し、スポーツクラブや学習塾が行う自然体験活動の参加率が高くなっている。
- ✓ 参加しなかった主な理由は、子どもが「関心を示さない」、保護者の「時間的負担が大きい」「団体や行事があることを知らない」といったことが挙げられる。
- ✓ 団体や行事などがあることを知らない、参加方法が分からない保護者が前回調査から増えており、体験活動の場や機会の情報が届いていない可能性が示唆される。
- ✓ 教育費の少ない家庭の子どもや子どもと一緒に体験活動をするのが苦手な保護者の子どもほど体験活動の機会が少なく、成育環境による体験格差がみられる。

体験活動のニーズを考える(子ども・保護者の視点)

## 子ども・保護者が望む体験活動

<子どもや保護者がしたいけど(してほしいけど)・できていない体験活動>

- ✓ お店や会社などでの職業体験
- ✓ 農業や林業、漁業での勤労生産体験
- ✓ 外国人と交流する国際交流体験
- ✓ 実験や新しい技術にふれる科学体験
- ✓ 自然の中で生き物や植物を採って食べる食育体験
- ✓ 自然を観察したり調べたりする自然観察体験



子どものしたいことや保護者のしてほしいことの上に、山や海、川などでの自然体験、異年齢・異世代交流、社会貢献活動、地域行事などが挙がっているが、これらの活動は実際にしている割合も高くなっている。

体験活動のニーズを考える(子ども・保護者の視点)

## 子どもが参加する体験を 選ぶ時に重視するポイント

1. 子どもの好奇心をくすぐる内容であること
2. 普段の生活や学校では体験できない内容
3. 子どもが自分でできて達成感が感じられること
4. (動物とのふれあいなど) 思いやりや自然の大切さがわかる内容であること
5. 自然や季節が満喫できること

など



# 利用する施設を決める時に 重視することや満足度に影響すること

## <重視すること>

1. 安全管理の体制が整っている
2. 施設・設備が充実している
3. 自然環境が豊かである
4. 例年利用している
5. 食物アレルギー等に対応する  
など

## <満足度に影響すること>

1. 宿泊室や研修室等の清潔さ
2. 施設・設備の充実度
3. 施設等の使用料や食事料金  
などの料金
4. 安全管理体制の充実度
5. 自然環境や近隣施設などの  
立地環境

など

## 利用する施設を検討する時に参考にした主な情報

- 自校の教職員からの情報
- 施設等のホームページ
- 施設等のパンフレットなどといった紙媒体の案内情報  
など

体験活動のニーズを考える(学校の視点)

## 集団宿泊活動で 児童生徒にさせたい体験活動

1. 協調性や連帯感をはぐくむことを目的にしたグループ活動
2. 登山や野外炊事などの野外活動
3. 自然に親しむことを目的にしたレクリエーション的な活動
4. キャンプファイヤーや星空観察などの夜の活動
5. 植物観察や野鳥観察などの自然観察活動

など



体験活動のニーズを考える(学校の視点)

## 集団宿泊活動の計画や実施の際に求める支援



1. 特別な配慮を要する児童生徒に対する施設・設備の充実や対応
2. 安全管理体制の整備
3. 施設・設備の充実
4. 利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること
5. 利用に関する手続きなどを簡略にすること

その他にも・・・

など

- ✓ 「利用の手引き」や「体験活動プログラム集」などの資料の充実
- ✓ ホームページなどの案内情報に関する資料の充実
- ✓ 施設等の職員の対応をよくすること(言葉遣いや親切な対応など)
- ✓ 施設等の職員等による児童生徒への一般的な体験活動プログラムの直接指導

今後求められることは何か①

## 体験活動に関するニーズの把握と現状分析の強化

### 利用者情報の管理と活用

- 利用者分析での活用（新規・リピート率、年齢層、地域、満足度、人気プログラム、予算・価格など）
- 広報での活用（企画事業や近隣イベントの案内、体験活動の啓発に関する情報など）



### 青少年教育研究センターとの連携強化

- 利用者情報を基にした利用促進に係る分析や調査の実施
- 既存調査による体験活動の実態把握やニーズの分析
- 青少年教育施設のマーケティングに関する調査研究の実施

今後求められることは何か②

## ニーズを踏まえた

# 体験活動プログラムの開発と利用者サービスの向上

## 体験活動プログラムの開発と指導の充実

- 職業体験、勤労生産体験、国際交流体験、科学体験、食育体験、自然観察など、施設の立地を生かした体験活動プログラムの新規開発
- 登山や野外炊事、キャンプファイヤー、レクリエーション(仲間づくりゲーム等)、観察活動など、よく行われる体験活動の直接指導の充実



## 利用者サービスの向上

- 宿泊室や研修室等の清掃の徹底、施設・設備の充実(特別な支援を要する利用者への対応も含む)、安心・安全な環境づくり、要望に対する柔軟な対応、利用手続きの簡略化といった利便性・快適性・安全性の向上
- 利用の手引きや体験活動プログラム集、ホームページなど、施設の利用や活動に関する案内情報の充実



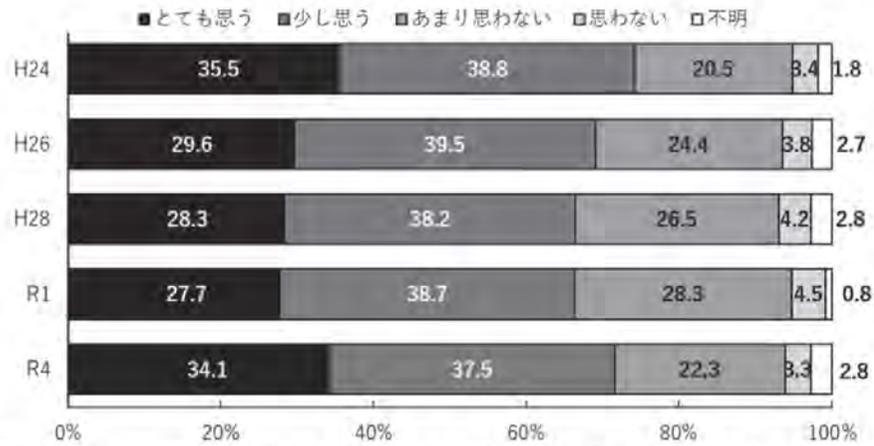
今後求められることは何か③

## 体験活動と子ども・保護者をつなぐ仕組みづくり

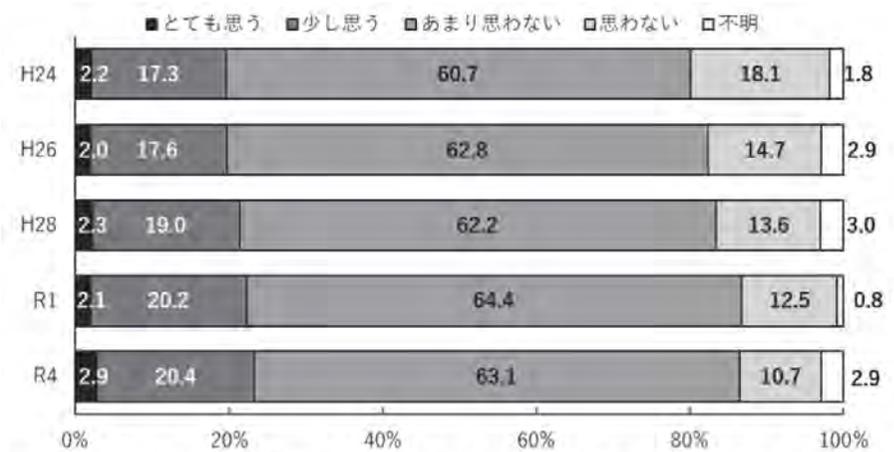
- 体験活動の場や機会と子ども・保護者をつなぐマッチングシステムの構築・運用
- 学校の授業や地域の施設・イベントへのアウトリーチ活動の推進
- 成育環境による体験格差の是正に向けた支援の充実

# 参 考 资 料

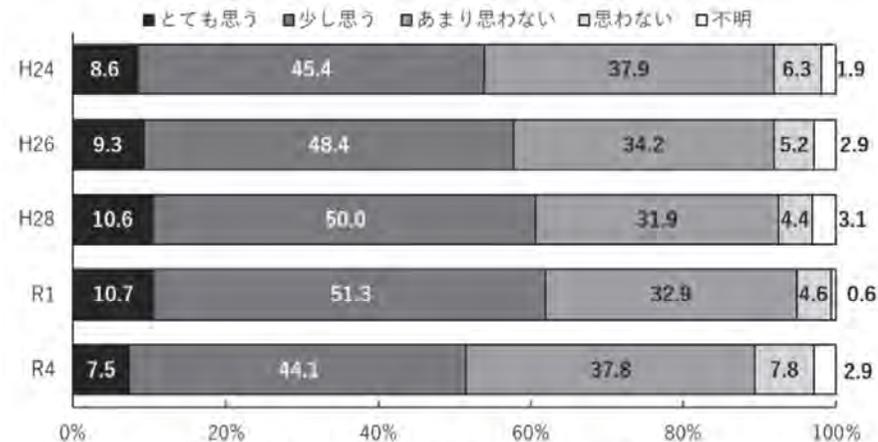
# 体験活動に対する保護者の意識



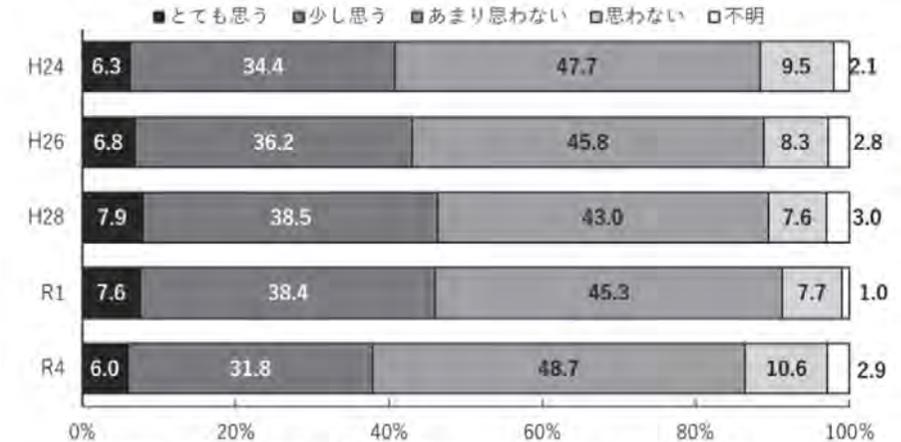
現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている



自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい



学校の授業や行事では、子どもたちが体験活動ができる機会が十分にある



学校の授業や行事以外では、子どもたちが体験活動ができる機会が十分にある

この16年で・・・

## 公的機関や民間団体が行う自然体験活動への参加は減少傾向

公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事への参加率

公的機関や民間団体等	2006 → 2019 → 2022	増減
子ども会やスポーツ少年団などの青少年団体	33.8% → 20.1% → 9.4%	▲24.4
PTA・自治会・町内会などの地域の団体	28.5% → 19.6% → 7.8%	▲20.7
スポーツクラブや学習塾	24.1% → 18.5% → 12.9%	▲11.2
児童館や公民館などの公的施設	18.9% → 12.6% → 7.0%	▲11.9
青年の家・少年自然の家などの教育施設	9.4% → 5.9% → 4.8%	▲4.6
都道府県・市町村や教育委員会	5.2% → 4.5% → 4.0%	▲1.2
旅行会社などの企業	3.2% → 2.2% → 2.9%	▲0.3
公益法人やNPO法人などの民間団体	2.9% → 4.3% → 4.2%	1.3

家族や友だちと一緒に自然体験活動を行った割合

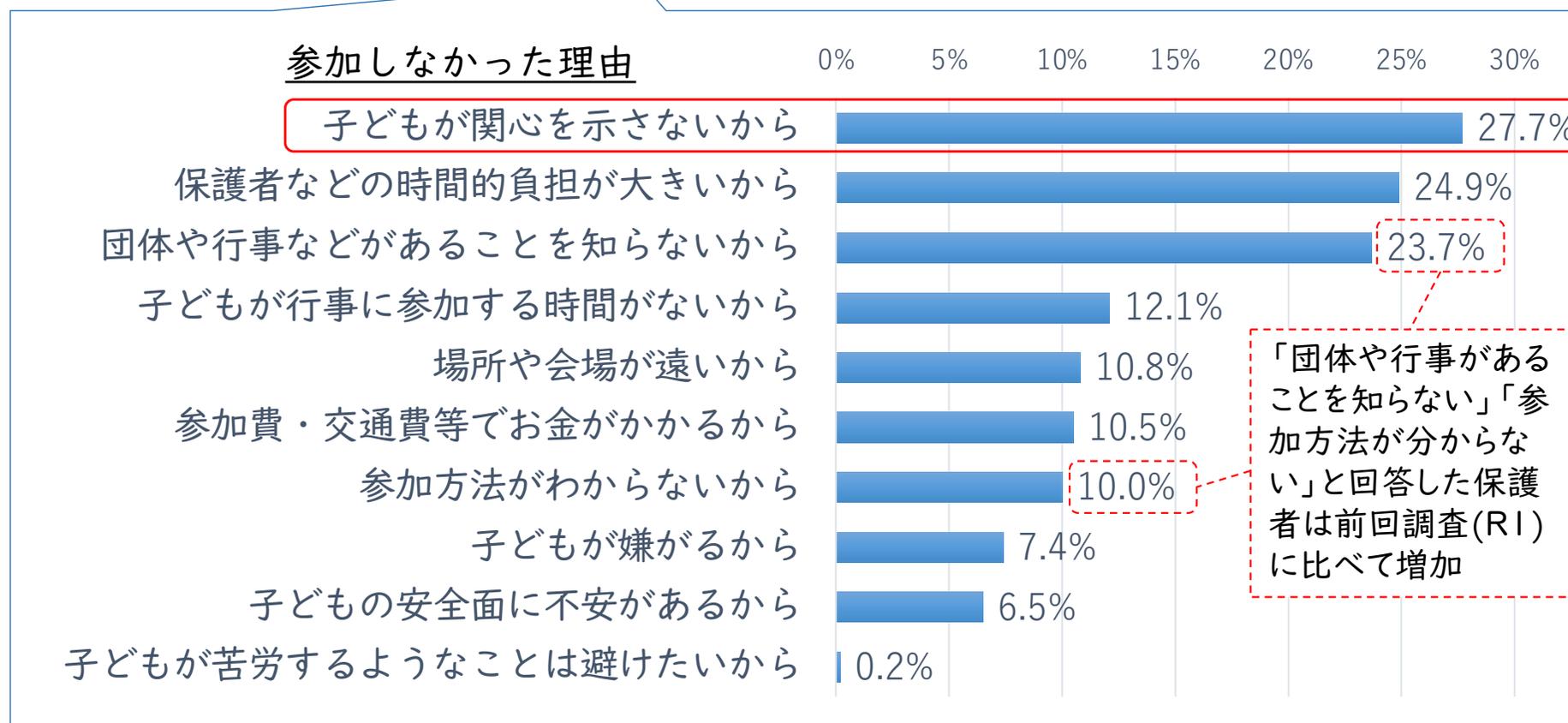
55.2%(2006) → 57.5%(2019) → 56.4%(2022)

## 公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に参加しなかった理由について

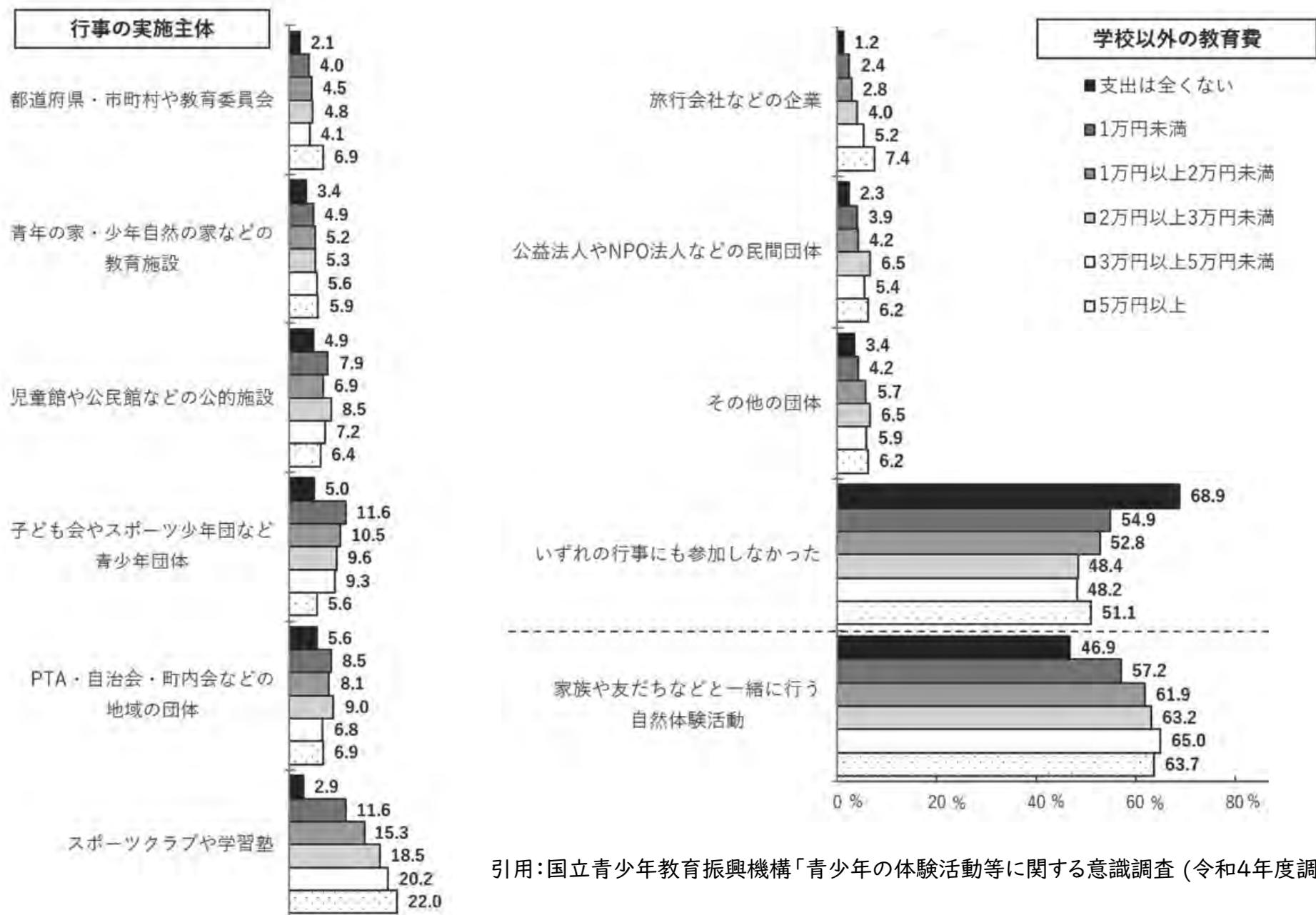
# 3割弱の保護者が“子どもが関心を示さないから”と回答

公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に参加しなかった小学生の割合

32.3%(2006) → 55.2%(2022)22.9ポイント増加



# 学校以外にかかる1か月の教育費ごとの自然体活動に関する行事等に参加した割合



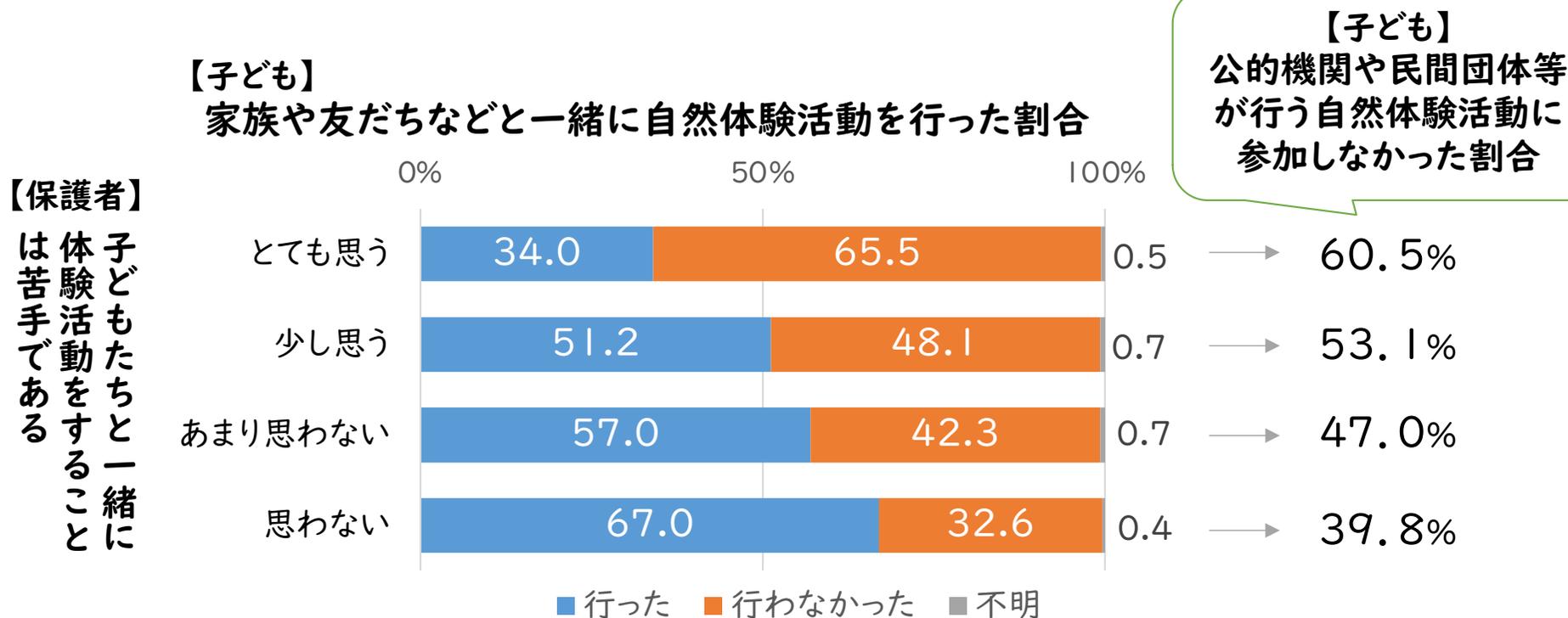
引用：国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和4年度調査）」

公的機関や民間団体が行う自然体験活動に参加しなかった理由を尋ねたところ…

1か月の教育費が低い家庭ほど、  
子どもが自然体験活動に関心を示さなかったり、  
保護者が時間的・金銭的な負担を感じている割合が高くなる傾向がみられる

自然体験活動に関する行事等に参加しなかった理由 (小学生の保護者)	学校以外にかかる1か月の教育費					
	支出は まったくない	1万円未満	1~2万円	2~3万円	3~5万円	5万円以上
子どもが関心を示さないから	<b>33.2</b>	29.2	26.5	25.9	19.6	13.8
保護者などの時間的負担が大きいから	<b>27.6</b>	27.0	24.8	21.5	18.4	15.1
参加費・交通費でお金がかかるから	<b>15.2</b>	11.1	9.6	7.2	5.6	4.1
場所や会場が遠いから	9.1	<b>11.9</b>	11.2	10.7	9.9	6.8

# 「体験活動が苦手」と思っている保護者の子どもほど、 体験活動の機会が少ない傾向がみられる



- ✓ 「子どもたちと一緒に体験活動をするのは苦手」と思っている保護者のこどもは、放課後や休日の運動やスポーツの経験、ボランティア活動や地域行事への参加、文化芸術に触れる体験も少ない傾向にある。
- ✓ 子どもの頃に自然体験が少なかった保護者ほど、「子どもたちと一緒に体験活動をするのは苦手」と思っている保護者が多い傾向にある。

# 放課後や休日における

## 小学生の体験活動の現状と保護者のニーズ①

実際にしたこと	%	してほしいこと	%
学年のちがう子どもと遊んだり、大人と話したりすること	93.7	困っている人の手助けやごみ拾いなど、社会のために役立つ活動をする事	96.8
山や森、川や海など、自然の中でできる様々な体験をすること	78.3	調べものや見学、情報の分析など、探究的な学習や活動をする事	96.5
動物や花など、生き物を育てること	74.2	学年のちがう子どもと遊んだり、大人と話したりすること	96.4
お祭りなど、地域で開催される行事に行くこと	71.4	星や岩、花や野鳥など、自然を観察したり調べたりすること	96.4
星や岩、花や野鳥など、自然を観察したり、調べたりすること	63.5	山や森、川や海など、自然の中でできる様々な体験をすること	96.3

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和4年度調査）」を基に作成

# 放課後や休日における 小学生の体験活動の現状と保護者のニーズ②

してほしいけど、できていないこと	してほしい	した	差
商店(お店)や会社などで実際の職業を体験すること	94.9	13.1	-81.8
農業や林業、漁業での勤労や生産を体験すること	92.8	16.2	-76.6
外国の人と話したり、遊んだり、一緒に生活したりすること	95.1	23.7	-71.4
地域のクラブや行事などに、委員や係として参加すること	91.2	25.0	-66.2
科学の実験や見学を通して、新しい技術などにふれること	96.3	40.3	-56.0

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和4年度調査)」を基に作成

# 放課後や休日における 中学生・高校生の体験活動の現状とニーズ①

実際にしたこと	%	したいこと	%
学年のちがう子どもと遊んだり、大人と話したりすること	78.1	お祭りなど、地域で開催される行事に行くこと	84.1
お祭りなど、地域で開催される行事に行くこと	70.2	困っている人の手助けやごみ拾いなど、社会のために役立つ活動をする	80.3
山や森、川や海など、自然の中でできる様々な体験をすること	61.7	山や森、川や海など、自然の中でできる様々な体験をすること	79.7
困っている人の手助けやごみ拾いなど、社会のために役立つ活動をする	60.3	学年のちがう子どもと遊んだり、大人と話したりすること	78.1
動物や花など、生き物を育てること	55.0	商店(お店)や会社などで実際の職業を体験すること	76.1

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和4年度調査)」を基に作成

# 放課後や休日における 中学生・高校生の体験活動の現状とニーズ②

したいけど、できていないこと	したい	した	差
農業や林業、漁業での勤労や生産を体験すること	54.0	17.1	-36.9
商店(お店)や会社などで実際の職業を体験すること	76.1	39.5	-36.6
外国の人と話したり、遊んだり、一緒に生活したりすること	65.0	28.5	-36.5
自然の中で生き物や植物を採って食べたり、加工したりすること	52.7	21.8	-30.9
星や岩、花や野鳥など、自然を観察したり、調べたりすること	69.0	42.6	-26.4

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和4年度調査)」を基に作成

## 1. 遊びや体験活動などについて

### Q7. やってみたい活動は何ですか。

#### 国際交流体験について

- 海外に一度も行ったことが無いので、**留学りゅうがくしてみたい。**（中学生）
- ベネチアふんいきの雰囲気ふんいきが好きなので、イタリアに行ってみたい。**（中学生）



#### 職業体験について

- 電車の運転体験しせつができる施設しせつに行きたい。**（小学生）
- 動物園の裏側うらがわが見られるので、**バックヤードツアーうらがわに参加してみたい。**（小学生）
- 国立科学博物館はくぶつかんに行った時、色々なことを研究している人に話を聞いて面白かった。また行きたい。（小学生）



#### 科学体験について

- 算数の問題きそくせいをつくらしてみたい。**立体や規則性きそくせいの問題をつくりたい。（小学生）



#### 社会貢献について

- 募金だけでなく、**実際に社会貢献活動じっさい こうけん げんぎの現場げんばを見に行きたい。**（中学生）
- 建物の掃除たてもの そうじをやってみたい。**色々なところがピカピカになると気持ちが良いし、物を整理したい。（小学生）
- 親が忙しいときに、**小さい子どものお世話いそがをしたい。**一緒に遊んだり、ごはんを食べさせたりしたい。（中学生）



#### その他

- 自分でどの授業じゅぎょうを受けるか選えらべるようにしてほしい。**（中学生）
- まだやったことが無いスポーツをやりたい。**（小学生）



### Q8. やってみたい活動がどのような場所や時期に開催されると参加できますか。

#### 日時について

- 夏休みや休みの日であれば、ほとんどの人が行けると思う。**（小学生）
- 化学実験は長期休みでなく土日でも良い。自然体験は無理むりかもしれないが、算数の問題むりついたりすることは土日でもできる。（小学生）

#### 場所について

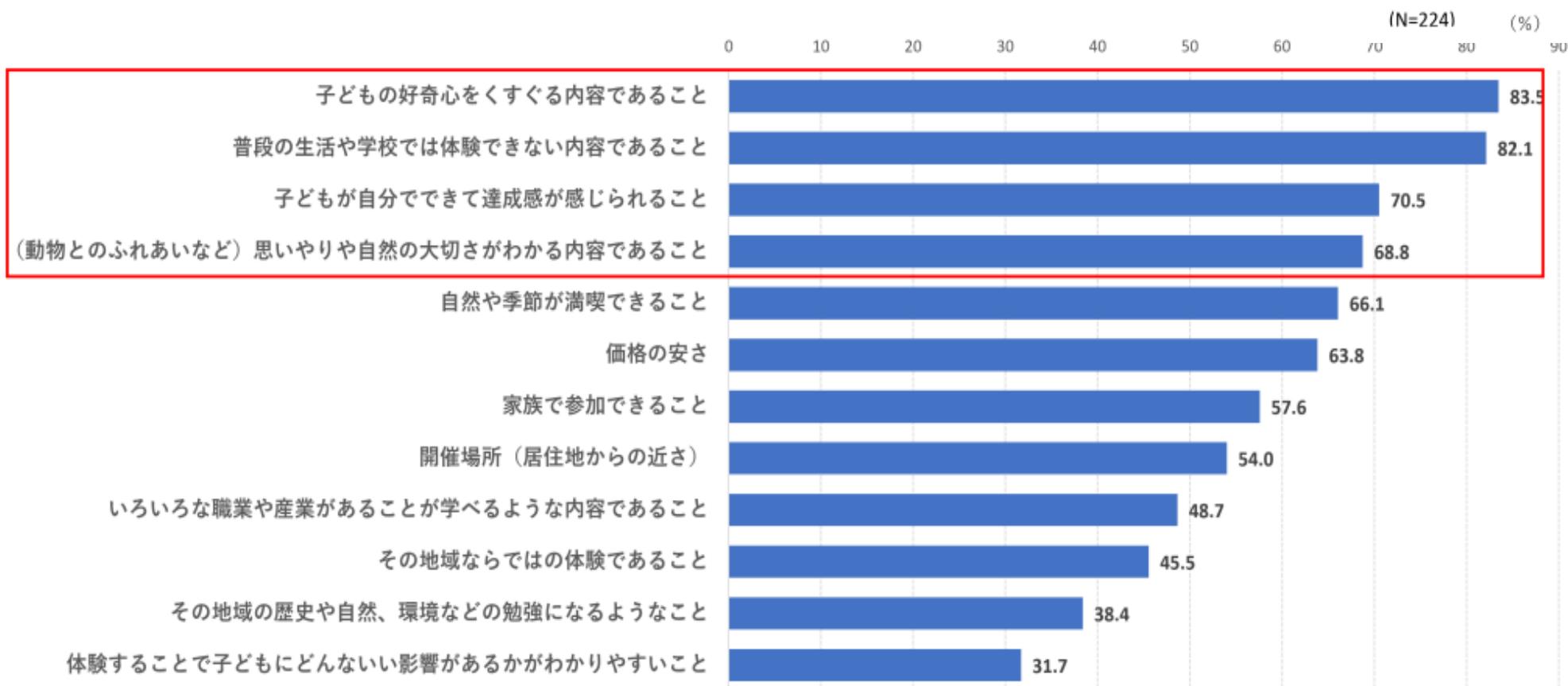
- 交通機関こうつうきかんから近い場所でやると、色々な人が行けるので良い。**（小学生）
- みんなが知っている広い場所でイベントをした方が分かりやすくて良い。**（小学生）



#### その他

- 職業体験は**仕事を実際いっしょにやっている場所で行う方がリアル感がある。**（小学生）

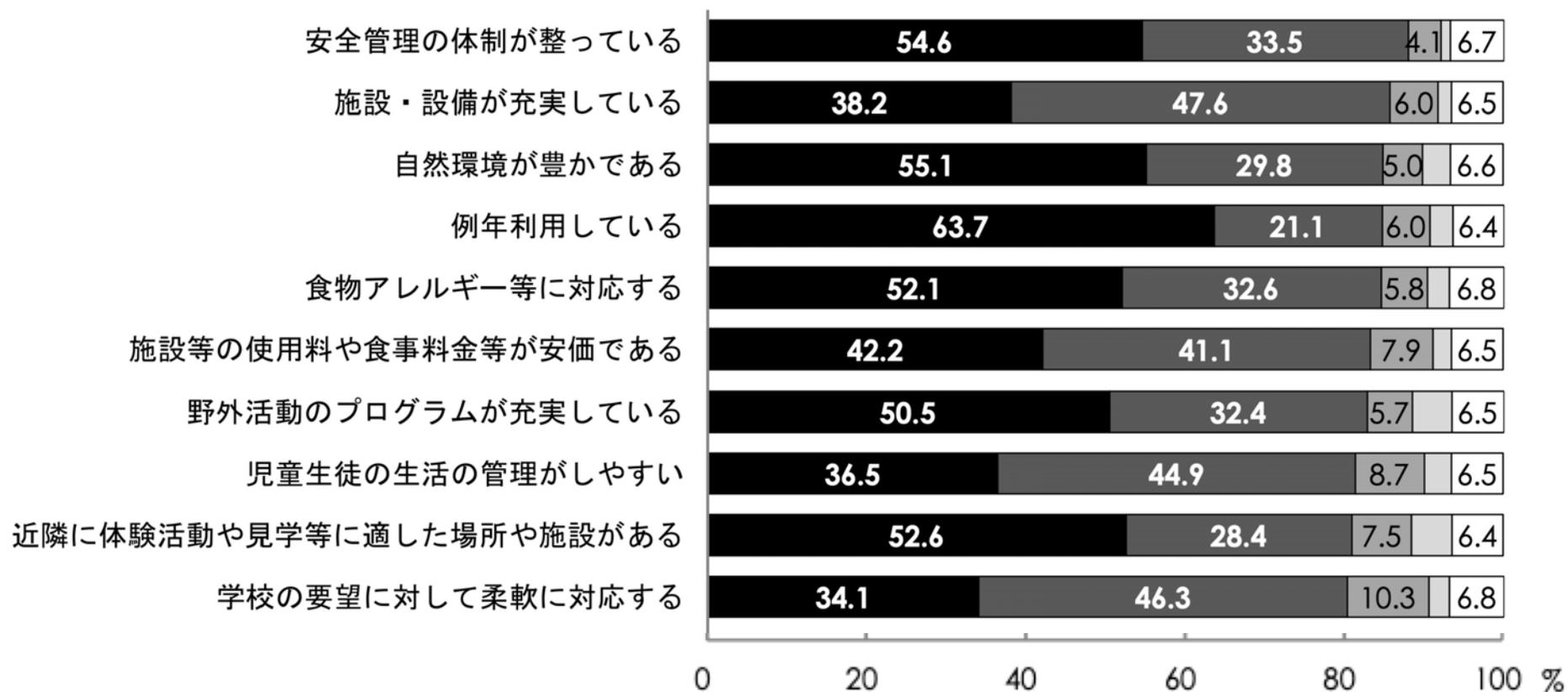
# 子どもの体験を検討する時に重視すること



引用:いこーよ総研「いこーよ2024年3月ユーザーアンケート」  
<https://research.iko-yo.net/solutions/research/10699.html>

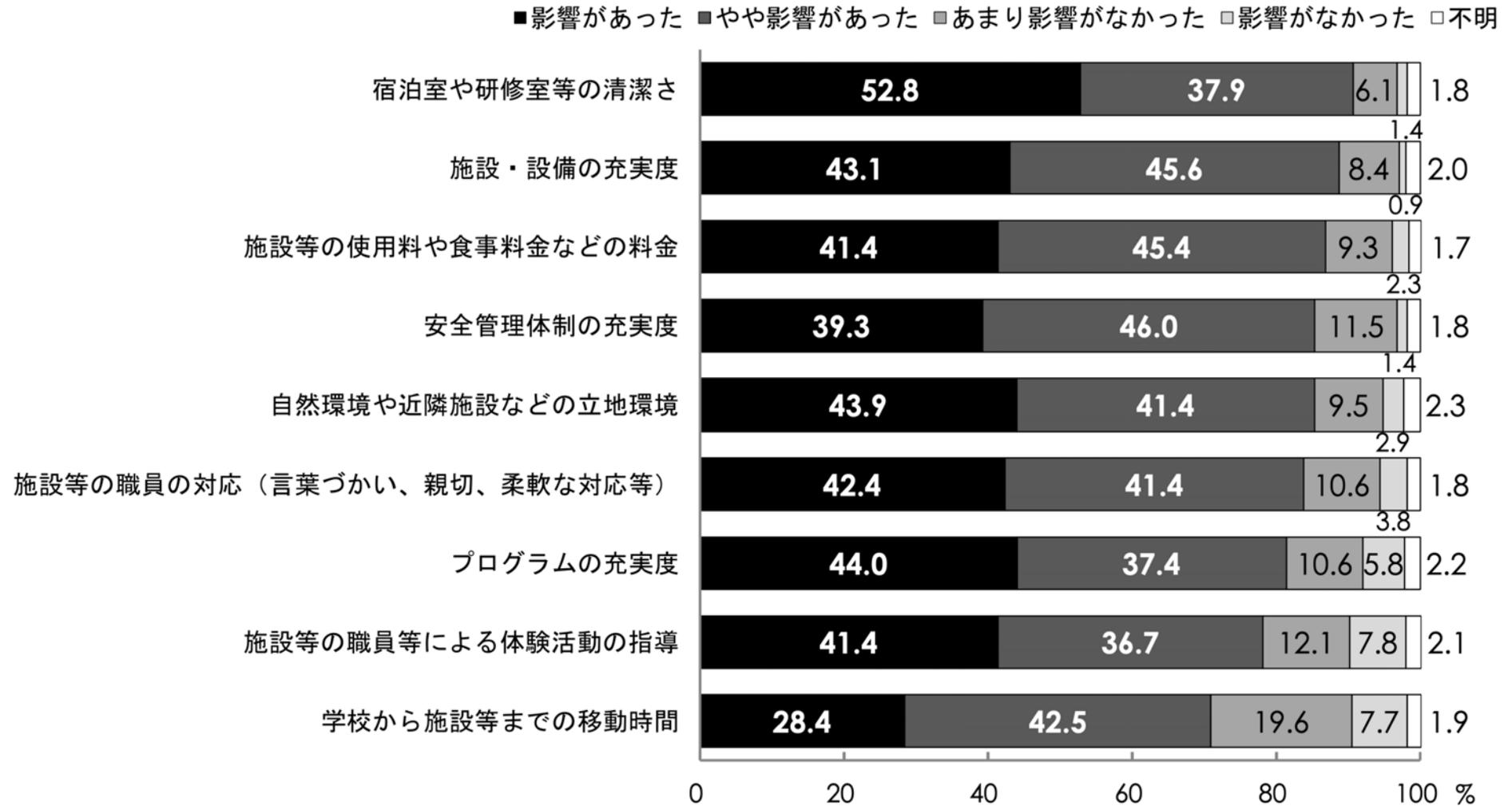
# 利用する施設を決定する際に重視したこと（上位10項目）

■重視した ■やや重視した ■どちらかという重視しなかった □重視しなかった □不明



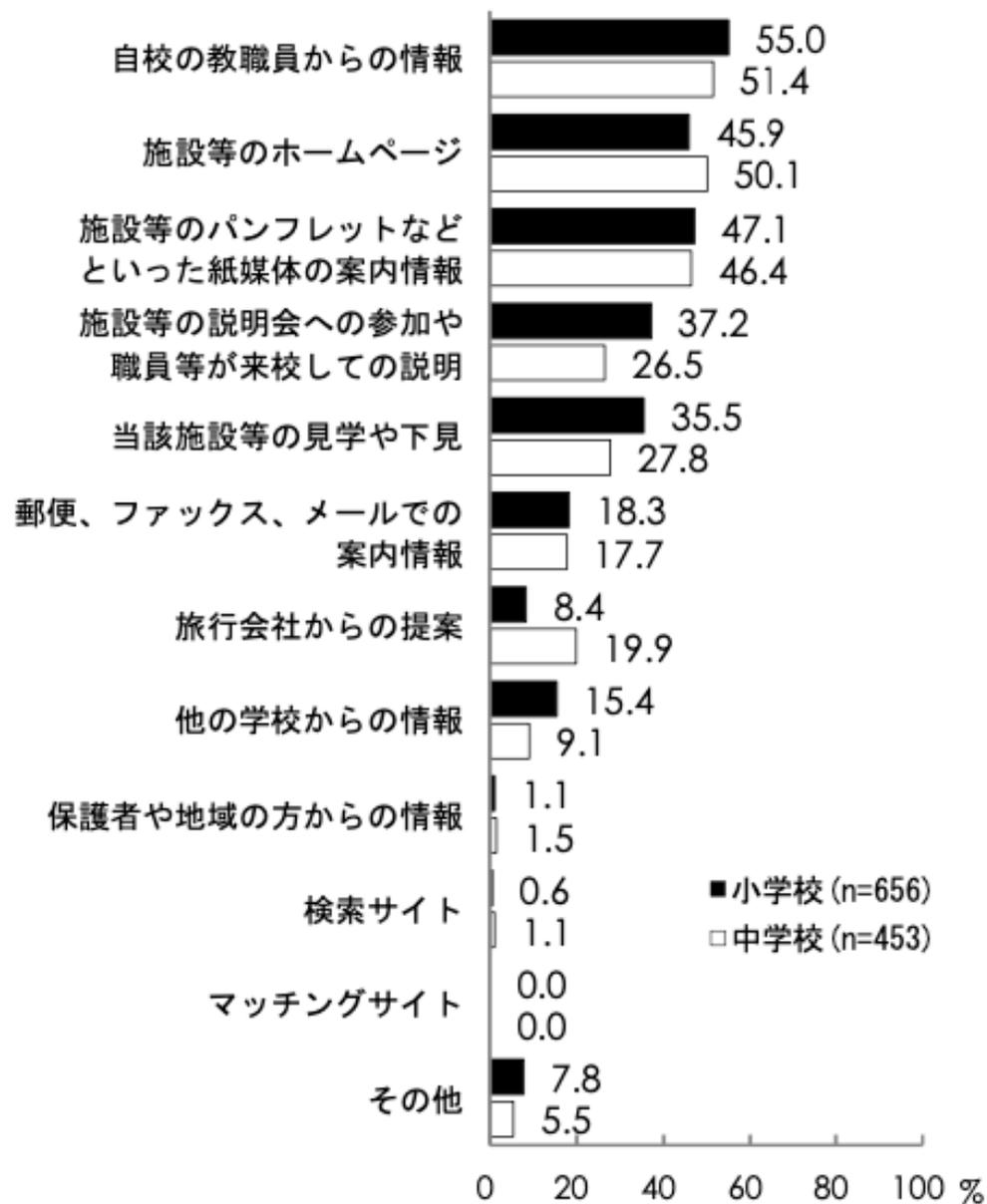
引用：国立青少年教育振興機構「小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査」

# 利用施設等に対する満足度に影響を与えたこと

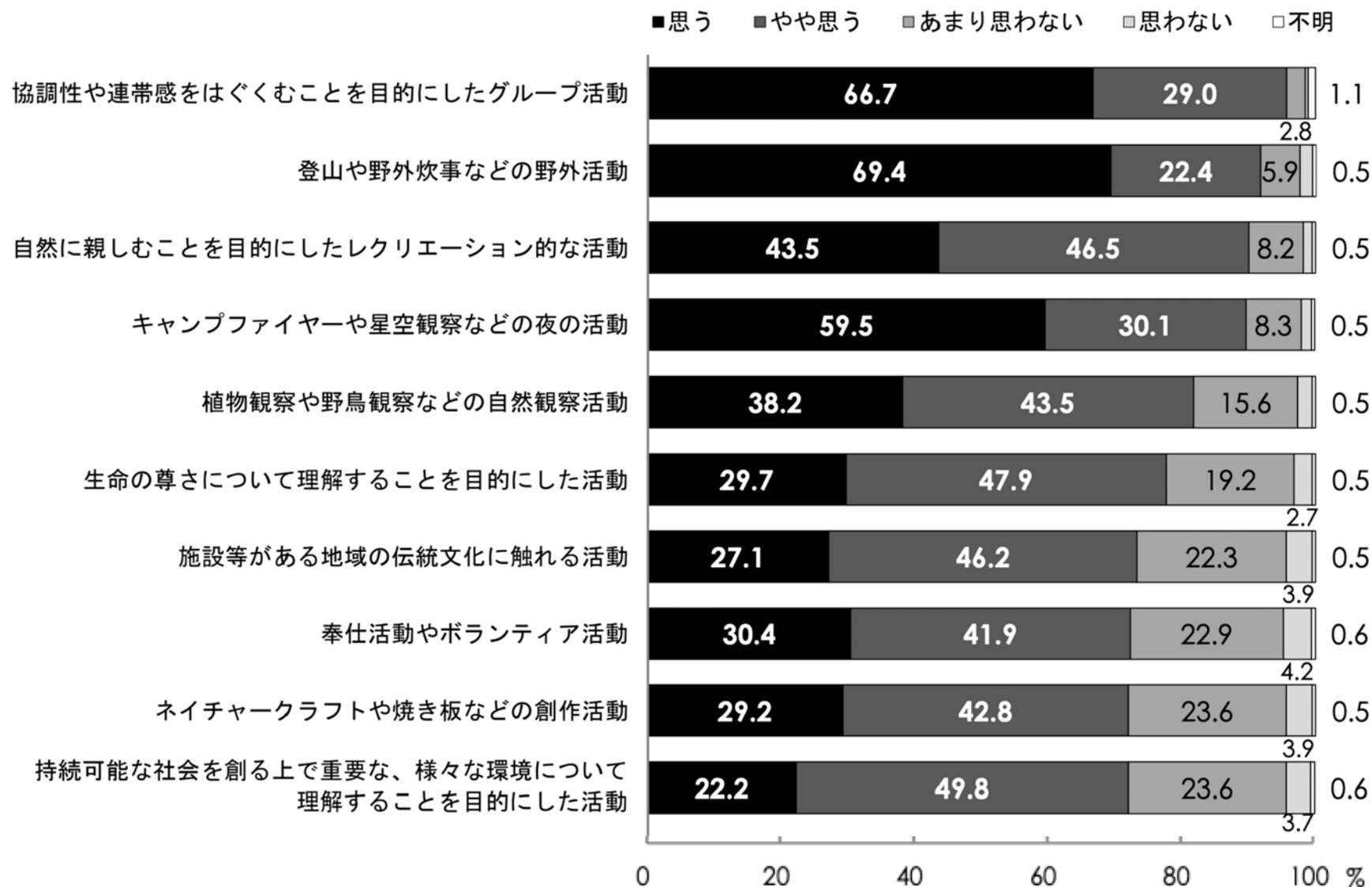


引用：国立青少年教育振興機構「小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査」

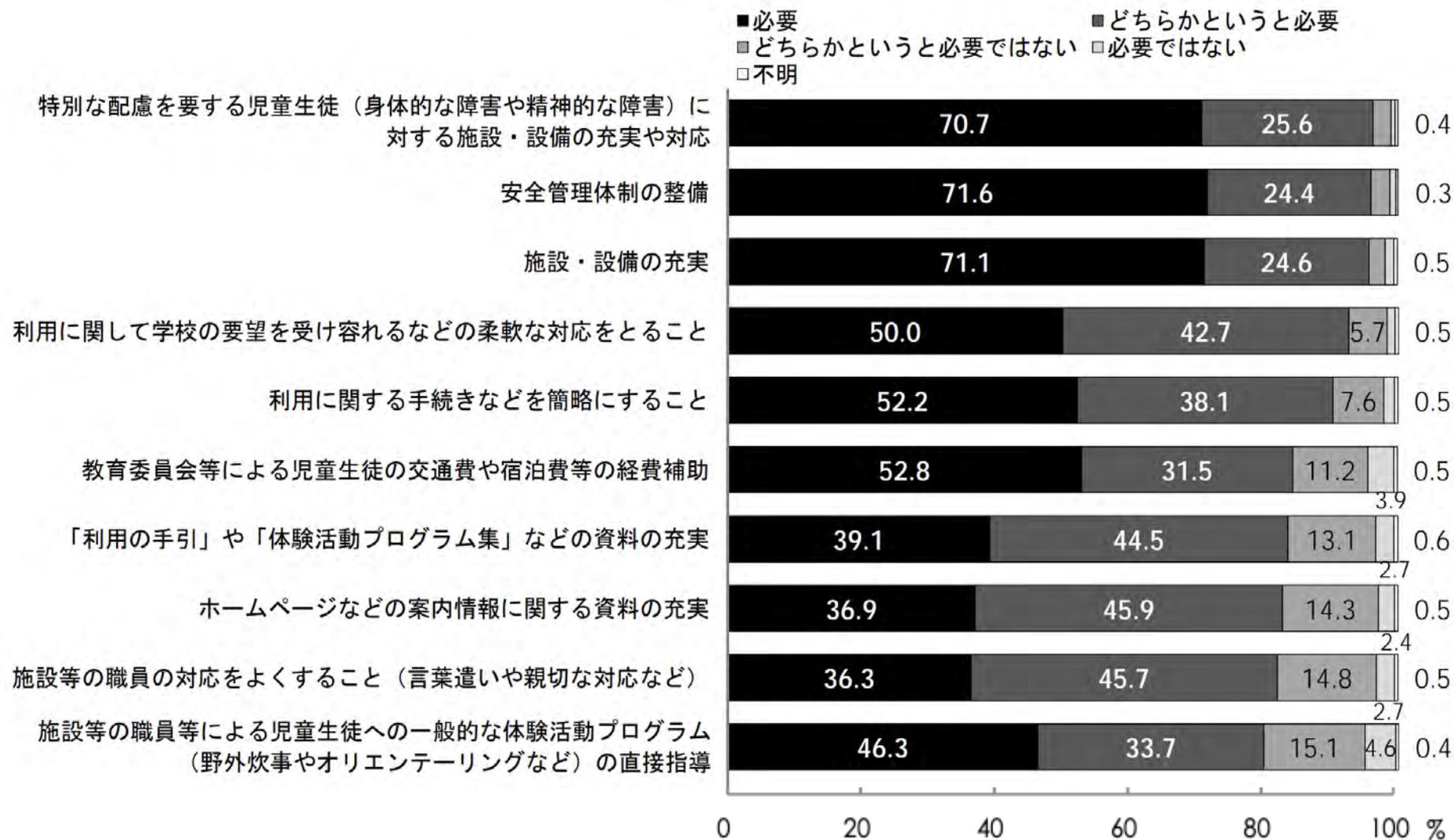
# 利用する施設を検討する際に参考にした情報



# 集団宿泊活動で見童生徒にさせたいと思う活動(上位10項目)



# 集団宿泊活動の計画や実施の際に必要な支援(上位10項目)



引用：国立青少年教育振興機構「小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査」